



30

つう じゆん ばし
通潤橋

熊本県 やべまち
 矢部町

水の通る有名な橋。安政年間建設の橋は、町の発展に奇与。



通潤橋は、水利の便に苦しむ白糸台地の人々を救うために、安政時代に総庄屋布田保之助により水路橋として建設されたものである。

この橋は、石組の技術もさることながら、サイホンの原理による水路が特徴である。水圧を弱めるための工夫、地震の衝撃を弱めるための松丸太の使用など、さまざまな工夫がみられる。

この水路橋により一〇〇ヘクタールも
 の水田が開け、布田保之助の功労は今も
 小中学校の教材とされるほどである。

また、九月の八朔祭には橋中央部からの放水が行われ、矢部町の名物となっている。

データボード

■所在地

熊本県上益城郡矢部町
 大字長原

■応募者

矢部町役場

☎09677-2-1111